

製品名: リン酸化 LAT (Tyr191) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00814**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 28 kDa; Observed MW: 28 kDa

抗原情報

遺伝子名	LAT
別名	LAT; Linker for activation of T-cells family member 1; 36 kDa phospho-tyrosine adapter protein; pp36; p36-38
遺伝子 ID	27040
SwissProt ID	O43561
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

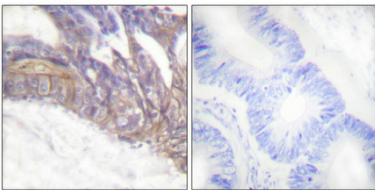
成熟 T 細胞およびその発達過程において、TCR (T 細胞抗原受容体) およびプレ TCR を介したシグナル伝達に必須です。ナチュラル

キラー細胞における FCGR3 (低親和性免疫グロブリン γ Fc 領域受容体 III) を介したシグナル伝達、およびマスト細胞における FCER1 (高親和性免疫グロブリン ϵ 受容体) を介したシグナル伝達に関与します。これらの受容体および関連キナーゼの活性化は、PLCG1、GRB2、GRAP2 などのシグナル伝達分子のリクルートメントを介して、細胞内カルシウム貯蔵の動員、PKC 活性化、MAPK 活性化、または細胞骨格再編成などの遠位細胞内イベントと結合します。

研究分野

免疫学

画像データ



パラフィン包埋ヒト大腸癌の Phospho-LAT (Tyr191) 抗体を使用した免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温 Tris-EDTA pH 8.0 を使用しました。右側はブロッキングペプチドを含むサンプルです。